

☆「終活」に関するお知らせ☆ ～ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称は、「人生会議」に～

(1) 超高齢社会における「終活」を理解するために、(イ)「多職種のためのしゅうかつ(終活)ガイド」～今をよりよく、自分らしく生きる～と(ロ)「元気なしゅうかつ(終活)マイ・ノート～自分のために、周りのために～」(河内長野市版エンディングノート)を刊行したが、法律改正に伴うマイナーチェンジをした修正版を現在配布中。(イ)と(ロ)の修正版、希望の場合は地域連携室迄連絡を！

(2) 1月13日(日)から、上記(イ)に記載の自筆証書(自分で作成した)遺言書の方式が、一部変更された(下記)。また、来年7月10日(金)からは、自己保管によるトラブル防止のための、自筆証書遺言書の法務局保管制度が創設される(別添)。

### 現行制度

今回の改正では、自筆証書遺言書に添付する「財産目録」は、手書きでなくてもよいが、遺言書本文は、今まで通り手書きで作成する必要がある。

自筆証書遺言を作成する場合には全文自書する必要がある。

現行法の規律  
遺言書の全文を自書する必要がある。

全部の手書きは負担が重い...

財産目録も全文自書しなければならない。

- × パソコンで目録を作成
- × 通帳のコピーを添付

### 改正によるメリット

自書によらない財産目録を添付することができる。

- パソコンで目録を作成
- 通帳のコピーを添付

別紙目録

財産目録には署名押印をしなければならないので、偽造も防止できる。

### ♡イベントの予告♡

#### ①第1回「まちなれんけい室シンポジウム」：3月23日(土)午後2時～ <初開催>

“顔の見える”関係づくりの熟成を目指して、石倉保彦先生(石倉医院)の基調講演「一步踏み出す“多職種連携”～かかりつけ医参加のカンファレンスから見えること～」の他、医療機関・事業所・団体の主張・PR等の発表⇒活動報告、研究発表、業務案内、求人案内、研修会等開催案内、お知らせ、連絡事項など、地域の多職種に向けての主張・PR(発表)があれば、別途受付中(案内・開催要項は1月21日に郵送済。別紙)。<於・ノバティホール(ノバティながの南館3階)>

#### ②第45回「在宅サロン」(講演)・第4回「在宅サロン“ミニ”」(懇談)：4月20日(土)午後2時30分～

人生の最終段階における医療と介護の連携シリーズとして開催。講師は、木澤義之先生(神戸大学医学部附属病院緩和と支持治療科特命教授)で、演題は「アドバンス・ケア・プランニング～いのちの終わ

りについて、話し合いをはじめ～」の予定(別紙)。終了後は、木澤先生を囲んでの懇談の予定(在宅サロン「ミニ」)。<於・河内長野市医師会館3階>

☆①②参加希望の場合は、必要事項(①か②、医療機関名・TEL・FAX・氏名・職種)を書いて、地域連携室迄FAX(54-1567)にて要申込。

☆①の「主張・PR」(発表)のプレゼン希望の場合は、医療機関名・予定プレゼンター・予定主張・PR内容を書いて、地域連携室迄FAX(54-1567)にて要申込。

☆第4号 おれんじ通信(別紙)

認知症部会は、第2回：3月28日(木)、第3回：4月18日(木)、いずれも午後3時から、地域連携室にて開催予定(別紙)。

☆第3号 ブルーカード・ニュース(別紙)

◇ブルーカードシステムに関するアンケート調査(昨年12月～1月実施)：同報告書(別添)

◇河内長野市消防本部との打合せ：2月6日(水)開催(於・河内長野市消防本部)

本会からは、ブルーカードシステムのアンケート調査の実施、発行実例集の発行、今後の方向性(クラウドシステムの導入、ブルーカード作成の簡素化の検討)等について縷々説明を行い、特に、市民啓発の必要性、広域連携(協力病院の拡大等)、多職種連携の重要性が強調。⇒後日、協力病院は8病院に。

◇第3回ブルーカードシステムに関する打合せ：2月13日(水)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)

本システムの運用状況、今後の方向性の確認など。他に、裾野を広げる活動として、1月25日(金)には登録医に関する個別説明、2月5日(火)・19日(火)には協力病院に関する懇談が夫々行われた。

◇クラウドシステムの導入：来年度より、全国200超の医師会(藤井寺市、豊中市、栃木県、群馬県等)で採用中の「メディカルケアステーション(MCS)」(エンブレス<sup>株</sup>)によるクラウドシステム(完全非公開型医療介護専用SNS)を使って、ブルーカードシステムの運用精度を高めていくことになった。MCSのメリットは、無料(エコシステム※で運営)、LINEやFacebookと比べ高いセキュリティ、パソコン・スマートフォン・タブレット等に対応、ワード・エクセル・PDF・動画・画像等の添付可能、Messenger的機能(1対1送信)や管理機能の登載、災害に強いなどが挙げられる。

※エコシステム：複数の企業によって構築された製品やサービスを取り巻く共通の収益環境のこと。具体的には、ある特定のスマートフォンを中心に、アプリケーションソフト、電子マネー、イヤホン、充電器などの関連製品が、つながりをもつ全企業に収益をもたらす環境を構築している例などがある。

◇河内長野市との懇談：2月20日(水)に保健福祉部担当者とブルーカードシステム等の意見交換。

☆地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進のために！！

(1) れんけいカフェ(偶数月の第4水曜日)は、第16回を2月27日(水)に開催。認知症問題やインフルエンザ対策等のディスカッションの他、厚生労働省や法務省等の資料説明など。第17回を4月24日(水)、第18回を6月26日(水)、夫々午後2時(会議)から開催予定(申込不要・別紙)。

(2) プチれんけいカフェは、「病院の地域連携担当の方との懇談～訪問看護師編」を2月27日(水)に開催(カフェ終了後)。訪問看護サマリーや訪問看護指示書の病院受付(依頼)窓口の確認の他、管理栄養士との連携の必要性、ブルーカードシステムの今後の方向性等が話し合われた。

◇上記(1)(2)には、大阪市内の在宅医療・介護連携推進事業(相談支援室)の担当者(大阪市健康局・淀川、此花、東成、阿倍野4区医師会<ブロック代表>)が視察に来訪。

(3) 「かわちながの連携シート」、「かわちながの連携シート<サービス担当者会議用>」、「かわちながの主治医意見書連絡シート」は、本会ホームページからワード版がダウンロード可能。

(4) 第4回連携室職員会議を2月13日(水)に開催し、ブルーカードシステム等の情報共有等を行った。なお、これまで平成28年4月5日(火)、平成29年9月26日(火)、同11月7日(火)に開催。

☆関わり事例の窓2：医療介護・成年後見等で相談があれば、地域連携室迄連絡を！

○関わり事例：①60代⇒入院中で、家族がいないため、見守り(生前事務委任契約・任意後見契約)が必要ではと。1月19日(土)～2月21日(火)対応。②70代⇒食器が片づけられない、買物にいけないと。1月21日(月)～2月7日(木)対応。③80代⇒公費助成の難病申請ができないかと。1月17日(木)～2月8日(金)対応。④70代⇒事故しても自動車運転をし続けるので困っている。2月7日(木)～2月12日(火)対応。<関わり事例の窓において、計6件>

⑤その他、電話相談(対応)：5件。<以上、詳しい病状等は略>

◇(縮小版)第8回いきいきフェスタ：2月10日(日)開催(於・河内長野市立市民交流センター4階<キックス>) 本会、薬剤師会、社会福祉協議会等が、パネル展示等を実施。参加124名(スタッフ含む)。

◇河内長野市訪問看護ステーション連絡会：2月14日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室) ブルーカードシステムの現状や各ステーションの状況等について、報告、意見交換など。

◇河内長野市地域ケア会議(全体会議)：2月21日(木)開催(於・河内長野市医師会館)

土生裕史議長(はぶ医院)の進行で、4委員会の活動状況や課題、若年性認知症支援、河内長野警察署からの徘徊者情報☆の報告等があった。本会からは、「終活」関連のガイダンスとマイ・ノートを配布するとともに、シンポジウム等のアナウンスを行った。また、社会福祉協議会の「地域ささえあいフォーラム」(地域の支え合い活動)は3月9日(土)、第9回「いきいきフェスタ」は9月29日(日)に、各々開催とのアナウンスがあった。場所は、いずれもキックス。

☆平成30年行方不明者63件、うち認知症16件(当日発見7件、2～7日8件、3～6ヶ月1件。発見場所は市内6件、市外9件、府外1件)。

□大阪府在宅医療総合支援事業研修会(大阪府医師会)

3月4日(月)には第2回在宅医療・介護連携相談窓口研修会(堺市・泉大津市・和泉市の取組み)、3月10日(日)には在宅医療研修会(地域包括ケア)が、夫々大阪府医師会館にて開催される。

☆【Topics】

○2040年を展望した社会保障・働き方改革本部(本部長：厚生労働大臣)：厚生労働省は昨年10月、団塊ジュニア世代(1971～1974年生まれ)が高齢者となる2040年を見据え、今後国民誰もが、より長く、元気に活躍できるよう、医療・福祉サービスの生産性向上を図りつつ、給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保を進めるために設置。本部には、横断的課題に関するプロジェクトチームが4つ(健康寿命延伸、医療・福祉サービス改革、高齢者雇用、地域共生)置かれた。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL：54-1700 FAX：54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス：chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>

～ブルーカードシステム(病状急変時対応システム)推進のために～

平成 31 (2019) 年 2 月 28 日

☆「ブルーカード」は、本人・キーパーソン・主治医がわかる医療用の「**パスポート**」です。「医療情報提供書」や「事前表示書」(リビングウィル)ではありません。

### 「ブルーカード」発行(新規)

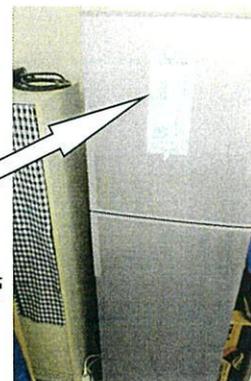


#### ◆ブルーカード携行⇒ブルーカード有を意思表示

本人・家族に、救急の際、救命救急士・連絡窓口に、必ず「ブルーカード」を保持していることを告げるよう、強調して説明頂きますようお願い申し上げます。

#### ◆ブルーカード保管場所⇒冷蔵庫ドアに貼付

本人・家族に、「ブルーカード」は冷蔵庫のドアに、マグネット等で留めて保管するよう、説明頂きますようお願い申し上げます。



#### ◆個人情報使用同意書作成⇒個人情報保護の徹底←クラウド化に向けて

「ブルーカード」発行と同時に、本人・家族と「個人情報使用同意書」(様式4)を取り交わして下さい。正本は登録医が保管し、副本(コピー分)は本人・家族に渡して下さい。

<p>&lt;これまでの運用状況&gt;</p> <p>(1)「ブルーカード」発行：159件(再発行等含む)</p> <p>(2)「ブルーカード」発動：31件 (うち救急隊出動21件)</p> <p>(3)「ブルーカード」発行時 患者平均年齢：86.3歳(50～101歳) キーパーソン：娘・嫁(47%)、息子(25%)等</p>	<p>&lt;登録医&gt;(かかりつけ医である医師会員)</p> <p>○「ブルーカード」を発行するのは、「登録医」となります。「登録医」になるには、登録(登録申込書の提出)が必要です。現在、「登録医」の登録申込みを随時受付しています。</p> <p>○現在登録医39名・登録医療機関33機関(うち「ブルーカード」を発行した登録医は26名)</p>
<p>&lt;連携病院&gt;</p> <p>榎本病院、さくら会病院、沢田病院、大阪南医療センター、岡記念病院、寺元記念病院の6病院(次頁)</p>	<p>&lt;協力病院&gt;田辺脳神経外科病院、大阪はびきの医療センター、城山病院、藤本病院、近畿大学医学部附属病院、阪和いずみ病院、老寿サナトリウム、青山第二病院の8病院(次頁) &lt;青字は新規参画&gt;</p>

ブルーカードシステム連携病院・協力病院一覧

	市	病院名	所在地	開設主体	病床数	病床数内訳	診療科目
連携	大阪狭山市	樫本病院	〒589-0012 大阪狭山市東くみの木4丁目1151	医療法人	199	一般117・医療療養46・回復リハ36	20科:内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、外科、消化器外科、肛門外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、神経内科、乳腺外科、整形外科、血管外科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科
協力		近畿大学医学部附属病院	〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2	学校法人	930	一般930	34科:外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、麻酔科、循環器内科、消化器内科、心療内科、神経内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、血液内科、呼吸器内科、腫瘍内科、漢方内科、形成外科、歯科口腔外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、矯正歯科
連携		さくら会病院	〒589-0011 大阪狭山市半田5丁目2610-1	社会医療法人	147	一般147	8科:脳神経外科、整形外科、内科、外科、リハビリテーション科、神経内科、形成外科、放射線科
協力	羽曳野市	大阪はびきの医療センター	〒583-8588 羽曳野市はびきの3丁目7番1号	地方独立行政法人 大阪府立病院機構	426	一般360・結核60・感染症6	20科:呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、小児科、呼吸器外科、産婦人科、眼科、皮膚科、放射線科、肺腫瘍内科、感染症内科、消化器外科、乳腺外科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査、歯科、麻酔科
協力		城山病院	〒583-0872 羽曳野市はびきの2丁目8番1号	医療法人	299	一般248・回復リハ51	22科:内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、消化器外科、肛門外科、外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、神経内科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、心臓血管外科
協力		藤本病院	〒583-0857 羽曳野市菅田3丁目15番27号	医療法人	177	一般117・医療療養60	12科:外科、内科、整形外科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、肛門外科、放射線科、リハビリテーション科
協力	藤井寺市	田辺脳神経外科病院	〒583-0014 藤井寺市野中2丁目91番地	医療法人	50	一般50	2科:脳神経外科・神経内科
協力	和泉市	阪和いずみ病院	〒594-1157 和泉市あゆみ野1丁目7番1号	医療法人	678	介護療養90・精神588	5科:内科、人工透析内科、心療内科、精神科、リハビリテーション科
連携	河内長野市	大阪南医療センター	〒586-8521 河内長野市木戸東町2番1号	独立行政法人 国立病院機構	470	一般470	29科:内科、心療内科、整形外科、外科、脳神経外科、小児外科、心臓血管外科、精神科、リウマチ・膠原病・アレルギー科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科、麻酔科、神経科、消化器科、循環器科、病理診断科、脳血管内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、血液内科、乳腺外科、放射線科
連携		岡記念病院	〒586-0024 河内長野市西之山町11番18号	医療法人	99	一般99	8科:内科、整形外科、外科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、脳神経外科
連携		沢田病院	〒586-0014 河内長野市長野町7番11号	医療法人	64	一般64	5科:外科、整形外科、内科、皮膚科、泌尿器科
連携		寺元記念病院	〒586-0017 河内長野市古野町4番11号	医療法人	160	一般160	23科:内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、外科、消化器外科、腫瘍外科、乳腺外科、大腸・肛門外科、内視鏡外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、糖尿病内科、脊椎・脊髄外科
協力		老寿サナトリウム	〒586-0094 河内長野市小山田町379番地の5	医療法人	281	医療療養281	1科:内科
協力		青山第二病院	〒586-0033 河内長野市喜多町192番地の1	医療法人	120	一般36・医療療養84	9科:内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、消化器内科、循環器内科、消化器外科、放射線科

大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課「大阪府医療機関情報システム」より

平成 31 (2019) 年 2 月 28 日

## ☆中央の動き

○内閣官房：認知症の諸課題について、関係行政機関の緊密な連携の下、政府一体となって総合的な対策を推進するため、**認知症施策推進関係閣僚会議**（議長：内閣官房長官）を設置し、諸外国の取組みもにらみながら、認知症施策に関する「大綱」を現在策定中。会議下には、幹事会、有識者会議、専門委員会が置かれている。検討のベースは、新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）と成年後見制度利用促進基本計画で、キーワードは「共生」と「予防」となっています。

## ☆河内長野市医師会の活動（振り返りも含めて・温故知新）

☆**認知症診療に関するアンケート調査**：平成 29 年 9 月～10 月実施（開業の医師会員対象）・回答率 81%

- ①質問項目：認知症を疑う患者さんの受診者数、認知症を疑った場合の対処や困り事、物忘れ相談の対処、認知症サポート医師や認知症疾患医療センターとの連携・相談度合など。
- ②主な意見：(a)患者さんに病識がなく、家族が遠方に在住の場合、支援に難渋することがある。(b)支援困難な方の入院の受け入れ病院を探すことが難しい。(c)支援している患者さんに関し、どのような介護介入がされているのが不明。(d)かかりつけ医、認知症サポート医、専門医、コメディカルとの連携が必要など。(e)行政の活動がないため、システムが周知されていないと思うなど。
- ③講評・まとめ・対応(当時) ⇒今後の方向性として、診診連携、病診連携の充実が挙げられる。
  - (1)1 か月間に外来で認知症を疑う患者さんは10人未満が最も多く、20人以上も15診療所あった。
  - (2)家族からの相談には専門医療機関の紹介、介護保険の申請を勧めるとの回答が多かったが、地域包括支援センターに連絡するという回答は14.5%と少なかった。また、患者さんの物忘れに気が付いた場合は家族に連絡して、自院もしくは専門医療機関と連携して診断をつけるという回答が多かったが、地域包括支援センターと連携をとるとの回答は12.7%と少なかった。
  - (3)認知症を疑った場合、薬の管理や服薬状況、検査結果の理解等について医師が不安を持つことが多く、入院の受け入れ先を探すにも困難を感じている。また、患者家族との連携の難しさも感じている。
  - (4)患者さんにどのような介護の介入がなされているのかわからない、サービス担当者会議への参加要請が少ないといった介護との連携の不足の指摘がある。
  - (5)認知症疾患医療センターや認知症サポート医と連携したことがなく、おれんじチームも知らなかったという回答が半数以上あった。
  - (6)認知症は、全ての医療機関の診療に重大な影響を及ぼしかねない疾患。今後も医療・介護の知恵を結集して対処してゆくことが求められている。

※平成 30 年度、「認知症に関する医療介護連携フローチャート」等を作成し、周知・啓発に努めました。また、認知症初期集中支援推進事業へ参画しました(今年度で終了)。

◎**認知症部会**：2月 28 日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室) 参加 13 名

第1回が開催されました。認知症施策に関する経過報告の他、本部会の今後の方向性等について意見交換、確認がありました。また、試行的に事例検討を行いました(次回からは本格的に実施予定)。なお、第2回は3月 28 日(木)、第3回は4月 18 日(木)、いずれも午後3時からの開催になりました。(別紙)

◎認知症や成年後見のことなどで、気になることがありましたら、地域連携室迄ご連絡下さい。

◇認知症介護の格言“3つの「かける」”

⇒「笑顔で話しかける」・「肩に手をかける」・「気にかける」

●**河内長野市における認知症施策の状況** (予定含む)

■平成 30 年度認知症初期集中支援推進事業への参画状況:山口看護師が全てに参加し、支援、助言等を行いました。

<下記①の( )内は、参加の認知症サポート医>

①チーム員会議(於:河内長野市医師会地域連携室)⇒4月 23 日(横内・児島)、5月 28 日(児島・山上)、6月 18 日(石倉・横内)、7月 23 日(児島・山上)、8月 27 日(横内・山上)、9月 10 日(児島・山上)、10月 1日(石倉・横内)・22 日(石倉・山上)、12月 17 日(横内・山上)、1月 21 日(石倉・児島)、2月 18 日(横内・山上)、3月 11 日(石倉・横内)・25 日(児島・山上)に開催。<敬称略>

なお、5月 14 日、7月 9 日、8月 6 日、11 月 12 日、12 月 3 日は中止。(以上、いずれも月曜日)

②個別チーム員会議(地域包括支援センター毎)⇒3月 22 日(木)東部、4月 2 日(月)西部、4月 13 日(金)中部、5月 8 日(月)西部、6月 1 日(金)西部、7月 2 日(月)西部、8月 2 日(木)西部、9月 7 日(金)西部、10 月 5 日(金)西部、11 月 8 日(木)西部、12 月 5 日(水)西部、1月 9 日(水)西部、2月 8 日(金)西部、3 月 1 日(金)西部で開催。

③チーム員活動⇒4月 11 日(水)西部<自宅訪問>・東部<情報共有>、13 日(金)西部<アセスメント>、21 日(土)中部<施設訪問>、24 日(火)東部<自宅訪問>。5月 11 日(金)西部<自宅訪問>、16 日(水)東部<自宅訪問等>、21 日(月)中部<情報提供>、22 日(火)中部<情報提供>、29 日(火)中部<自宅訪問>。6月 4 日(月)中部<自宅訪問>、11 日(月)東部<自宅訪問>・中部<情報提供>、12 日(火)東部<情報提供>、19 日(火)東部<自宅訪問>、22 日(金)中部<自宅訪問>、25 日(月)東部<自宅訪問>・中部<情報提供>、28 日(木)中部<自宅訪問>。7月 5 日(木)東部<自宅訪問>、11 日(水)西部<情報提供>、14 日(土)東部<同行受診>、25 日(水)西部<自宅訪問>、26 日(木)東部<自宅訪問>。8月 4 日(土)東部<自宅訪問>、8 日(水)中部<自宅訪問>、10 日(金)西部<自宅訪問>。9月 10 日(月)西部<自宅訪問>、12 日(水)西部<自宅訪問>、13 日(木)西部<医師との懇談>、14 日(金)西部<医師との懇談>。10 月 19 日(金)東部<おれんじカフェ同行>、30 日(火)東部<情報提供>。11 月 13 日(火)西部<自宅訪問>、21 日(水)西部<ミスノクリニック運動教室同行>。1月 28 日(月)東部<自宅訪問 2 件>。2月 6 日(水)東部<受診時の面談>。

■来年度の認知症初期集中支援推進事業への参画状況予定:山口看護師の参加はありません。なお、認知症サポート医の先生は、チーム員会議に参加されます。

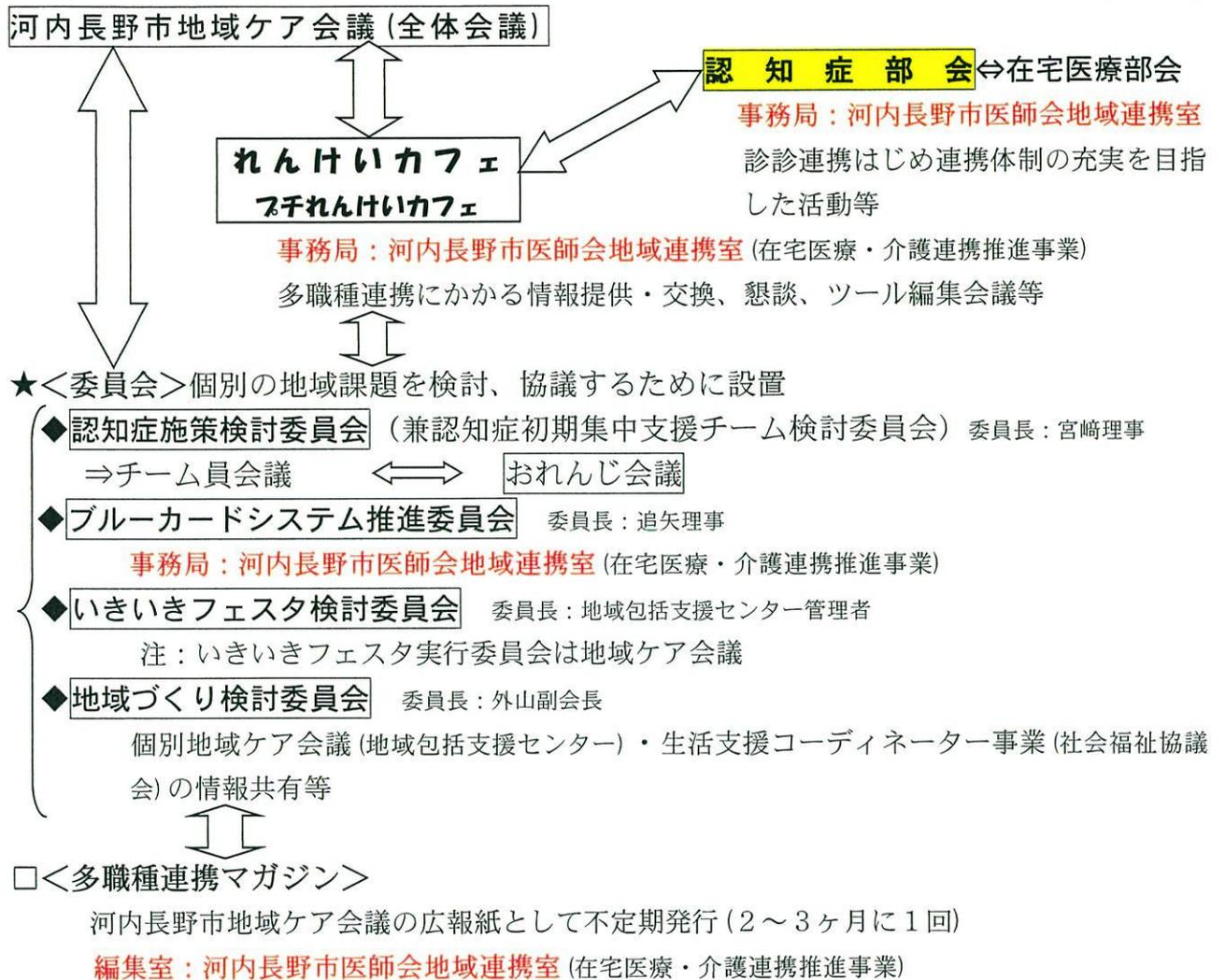
■おれんじ会議(認知症地域連携連絡会を改称):認知症における地域課題の検討、情報交換等を行うために、設置されました。3月 18 日(月)には、最後の認知症地域連携連絡会が開催され、ほんわからぶ(本人ミーティング)の活動報告等の予定です。

■認知症地域支援推進員:市町村毎に、地域包括支援センター、市町村、認知症疾患医療センター等に配置され、医療機関、介護サービス、地域の支援機関等の連携を図り、認知症の方や家族を支援する相談業務等を行います。河内長野市には、地域包括支援センター毎に配置(計 3 名)されています。

■認知症パートナー:河内長野市主催の 4 日間の養成講座を受講した認知症の(市独自の)ボランティアです。現在 77 名の登録があり、「おれんじ(認知症)カフェ」のスタッフや介護保険施設の傾聴ボランティア等で活躍されています。原則として、毎月第 3 木曜日に、「定例会」が行われています。

# 河内長野市地域ケア会議と河内長野市医師会認知症部会の体制図

31. 2. 28



## ★<地域ケア会議>

■設置根拠：介護保険法第115条の48・河内長野市地域ケア会議設置要領

■目的：(1) 地域包括支援ネットワークの構築

(2) 地域の社会資源情報の集約と活用

(3) 地域が抱える課題分析及び共有化

(4) 援助困難事例の検討

(5) 地域の介護支援専門員及びサービス事業者の調整、指導及び支援

(6) 新たなサービス資源開発ほか

■全体会議：メンバー⇒河内長野市役所 (主管：いきいき高齢・福祉課)、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、訪問看護ステーション連絡会、警察署、消防署、社会福祉協議会、地域包括支援センター、ケアネットワーク会議、民生委員児童委員

## ◎<れんけいカフェ・プちれんけいカフェ> 医療介護福祉法務関係者対象

れんけいカフェ：偶数月の第4水曜日午後2時から会議・プちれんけいカフェ：不定期

## 第 1 回 まちのれんけい室 シンポジウム案内・開催要項

～多職種連携における“顔の見える”関係づくりの熟成～

各 位

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今般標記シンポジウムを下記開催要項に基づき、初めて開催することになりました。興味のある方は、参加、或いは「主張・PR」のプレゼンテーションに応募下さいますようお願い申し上げます。謹白

---

◎日 時：平成 31 年 3 月 23 日 (土) 午後 2 時～ 4 時 (予定)

◎場 所：ノバティホール (ノバティながの南館 3 階)



◎趣旨・目的：超高齢社会にあって、多職種連携の推進は喫緊の課題であります。基調講演、それぞれの主張・PRにより、地域や個々の実情を知り、更なる“顔の見える”関係づくりの醸成を目指します。(プレゼンテーション、以下「プレゼン」)

◎次 第：◇開会、挨拶

◇基調講演(40分)：「一步踏み出す“多職種連携”～かかりつけ医参加のカンファレンスから見えること～」(仮題) 石倉保彦先生(石倉医院)

◇主張・PR(50分)：

① 1 事業所(医療機関・団体・法人含む。個人は除く) 3 分位のプレゼン

② 内容⇒活動報告、研究発表、業務案内、求人案内、研修会等開催案内、お知らせ、連絡事項など

③ 要領⇒A4・A3判資料(1枚以上)をもとにプレゼン。資料は各自用意し、事前に必要部数を地域連携室まで届ける(郵送可)

◇グループワーク・質疑応答(30分)、その他、閉会

◎対象者：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、歯科衛生士、ケアマネジャー、介護福祉士、福祉用具専門相談員、介護職、事務職、行政書士ほか

◎申込み期限：(1) **参 加⇒3月22日(金)迄** (但し、定員超過の場合はお断りします)

(2) **主張・PR⇒3月18日(月)迄** (但し、多数の場合はお断りします)

◎問合せ先：河内長野市医師会地域連携室(まちのれんけい室)

〒586-0012 河内長野市菊水町 2-13 TEL 0721-54-1700・FAX 0721-54-1567

メールアドレス：chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団



## 第45回「在宅サロン」開催のご案内

(一社) 河内長野市医師会 (主催)

会長 中 林 才 治

在宅医療推進事業担当

理事 澤 田 重 吾

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

超高齢多死社会を迎え、人生の最終段階における在宅医療においては、医療・ケアチームによる多職種連携や専門職のスキルアップが求められています。今回は、人生の最終段階における医療体制整備事業（厚生労働省委託）のプロジェクトリーダーをされておられる、神戸大学医学部附属病院 木澤義之先生にお越しいただき、「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP) について、ご講演を頂きます。ACPは現在、日本医師会においても推奨されており、今後の動向が注目されています。

業務ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、多数参加頂きますようお願い申し上げます。 謹白

記

日時： 平成31年4月20日(土) 14:30～16:30

会場： 河内長野市医師会館3階

〒586-0012 大阪府河内長野市菊水町2-13 TEL: 0721-54-1550

(1) 14:30～15:30

☆特別講演 (人生の最終段階における医療と介護の連携シリーズ Part 2)

「アドバンス・ケア・プランニング

～いのちの終わりについて、話し合いをはじめる～」

神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授

木澤 義之 (きざわ よしゆき) 先生

(2) 15:40～16:30

☆第4回 在宅サロン “ミニ”

講師の先生を交えた人生の最終段階における医療と介護の連携に関する懇談会

※在宅サロン “ミニ” は、顔の見える多職種連携の推進を目指した懇談会、研修会です。

◇対象：医療系、介護系、福祉系各専門職、行政関係者等

◇本サロンは、大阪府医師会生涯研修 (1.5単位) の認定を受ける予定です。

カリキュラムコードは、12、80、81

◇参加ご希望の場合は、必要事項 (医療機関名・TEL・FAX・氏名・職種) を書いて、

地域連携室迄FAX (54-1567) にてお送り下さい。

本書発信元：河内長野市医師会地域連携室

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

河内長野市地域ケア会議

# 第17・18回「れんけいカフェ」！！

於・河内長野市医師会地域連携室

多職種で“れんけいできるカフェ”を目指して、下記の通り開所します(偶数月の第4水曜日の定期開催)。

当日午後2時から約1時間は、資料説明やディスカッション等(会議)の時間になります。その前後はフリーに、コミュニケーションの場としてお使い下さい。

当日、PRや広報したいこと(資料配布)等がありましたら、事前に当室迄お申し出下さい。



<会議日時>

第17回：4月24日(水)午後2時

<禁煙>

第18回：6月26日(水)午後2時

<対象> 医療介護福祉法務関係者 ※開所時間は、午後1時30分～5時迄です。

<場所> 河内長野市医師会地域連携室 (河内長野市菊水町2番13号)

<その他> 予約不要・費用無料 (珈琲・緑茶・紅茶等を用意しています。)

[連絡先] 河内長野市医師会地域連携室  
(まちのれんけい室)

TEL 0721-54-1700

FAX 0721-54-1567

メール [chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com](mailto:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com)

♡マスターより♡

平成31年3月1日(金)

会 員 各 位

一般社団法人河内長野市医師会  
会 長 中 林 才 治  
理 事 宮 崎 浩

## 第2回・第3回河内長野市医師会「認知症部会」の開催について

謹啓 春寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本会では、認知症問題に関して、かかりつけ医と専門医との診診連携はじめ、更に充実した多職種連携体制を整え、誰もが、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指すべく、今般「認知症部会」を設置しました。

つきましては、標記「認知症部会」を、下記の通り開催いたしたいと存じます。特に、次回からは、認知症の事例検討を行いたいと存じますので、何か検討すべき事例がございましたら、事前に地域連携室までお申し出下さい。

業務ご多端の折、誠に恐縮ではありますが、ぜひご出席を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。なお、参加の申込みはございません。当日直接、地域連携室会議室までお越し下さい。 謹白

### 記

☆日 時<第2回> 3月28日(木)午後3時～ (約1時間の予定)

<第3回> 4月18日(木)午後3時～ (約1時間の予定)

☆場 所 河内長野市医師会地域連携室会議室 (河内長野市菊水町 2-13)

☆次 第 1. 開会・挨拶

(予定) 2. 報告・説明

3. 事例検討(今後につなげる検討を行いたいと存じます。)

4. その他・閉会

※駐車スペースあります。

☆連絡先：河内長野市医師会地域連携室

TEL 0721-54-1700

FAX 0721-54-1567

メール [chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com](mailto:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com)